



## KIFA平成30年度総会開催



### 平成30年4月21日(土)草津市役所8階大会議室でKIFA平成30年度総会が開催されました。

平成30年4月21日(土)午前10時より、草津市役所8階大会議室にて草津市国際交流協会の平成30年度総会が開催されました。正会員数61名のうち、25名の出席者ならびに委任状提出29名の合計54名となり、過半数を超えることから総会が成立したことをご報告いたします。

南啓次郎会長の開式の挨拶では、昨年度はミシガン州からの県の使節団受入に続き、11月には中学生11名を含む21人の使節団を10日間受入れた件、3年

間継続してきた文化庁の「生活者としての外国人のための日本語教育事業」が無事完了し、大きな成果が出せたことが報告されました。又、国際理解部会・広報部会・多文化共生部会もそれぞれ計画通りの活発な活動が行えたことの報告がありました。続いて名誉会長でもある橋川草津市長より、草津市国際交流協会が草津市の国際交流・国際理解・多文化共生に果たしている役割の大きさに対して評価いただき、今年度以降も引き続き活発な活動の継続を望まれる旨の挨拶

を頂きました。

総会の議事に関しては、正会員の中から選任された南新介議長の進行のもと各部会長より活動報告がされ、平成29年度事業に関する議案が全会一致で承認されました。また、新役員の人事が提出され、理事を退任される寺尾理事と松井理事に代わり、新たに草木理事と樋口理事が選任されました。平成30年度事業に対する議案が審議され、出席者の総意をもって承認されて閉会しました。

(事務局長 浦 幹夫)

# KIFA総会・講演会に参加して



4月21日土曜日、春らしい快晴の朝である。真っ暗な閉庁日の草津市役所の中で、活発な声が聞こえてくる一角がある。声の源をたどるとそこで行われていたのは、草津市国際交流協会の総会と、講演会であった。

草津市国際交流協会の年一回の総会では、前年度の様々な活動の報告がなされる。姉妹都市との交流事業がある。草津市にキャンパスを置く立命館大学の留学生その他、草津市在住外国人との交流がある。外国出身の方の文化的背景を知る国際理解の事業や、広報事業がある。多様かつ精力的な

平成30年4月21日(土)総会に引き続き講演会を開催しました。

今回は立命館大学経済学部黒川教授によるハラールに関する講演「サイエンスとしてのハラールフードビジネス」でした。

※ムスリム…イスラム教徒 ※ハラール…イスラム法において合法なもの

活動のそれぞれは、携わる人々の端倪すべからざる意志の力を感じさせる。

総会に続いたのは、ハラール食材の認証をめぐる世界の現状についての、立命館大学 黒川教授のご講演であった。ムスリムの人々による生の声で、「ハラール食材とは?」、「その必要性と日本社会におけるハードルとは?」など闊達な議論がなされた。日本社会ではまだマイノリティである外国の人々が、社会の中で解け合い、ともによりよい街を作っていくために、これらの活動は全て、自らの意志で動き出した人たちの手で担われている。

自発的な意志が人々を巻き込み、街を興し、創っていく。寛容で多文化的な社会を創っていく礎が、KIFAにある。ここから刺激を得て、私自身も、

全ての人にとってより住みやすい社会づくりに向けて、貢献していこうとの思いを新たにした。

(KIFA会員 木曾雄高)



## 日本語ひろば「きずな」のお花見

3月31日(土)に草津川跡地公園「de愛ひろば」で、日本語ひろば「きずな」の花見が開催されました。

日本語ひろばでは3月31日(土)お花見に行きました。今までは彦根城や三井寺へ出かけることが多かったのですが、今年は初めて場所を草津にして、ちょうどオープン1周年を迎えた草津川跡地公園de愛ひろばでお花見をしました。

今年の桜は早いらしい…ということで日にちを1週間早めました。これが大正解で当日はいいお天気の中、



満開の桜を思いっきり楽しむことができました。きっと皆さんの心がけが良かったからだろうと思っています。

参加メンバーは外国人生徒10人、日本人スタッフ5人でした。桜の木の下でお弁当をひろげてお花見気分をそれぞれに満喫しました。食後は自己紹介の時間にかわり、一人一人がいくつかの質問に答えながら、ゆっくりと自分のことを話してくれました。素敵な



歌声を披露してくれた生徒さんもあり、なごやかなひとときでした。

「自分の国にも桜の木はある」と何人かの生徒さんは言っていたのですが、その下でお弁当を食べるといった習慣はないそうで、日本の文化に触れるいい経験になったのかもしれない。帰国して桜の木を見たとき、日本でのお花見を思い出してくれると嬉しいですね。

(KIFA会員 高橋 小百合)

「KIFAビジョン」5年間のKIFAの活動方針です。



# 草津市国際交流協会(KIFA) ビジョン改定版

～交流と理解から紡ぐ“草津の国際化”をめざして～

2017(平成29)年度～2021(平成33)年度

草津市国際交流協会  
2017年(平成29年)4月

# 草津市国際交流協会 (KIFA) ビジョン改定版 (2017~2021年度)

## KIFAの設立目的

国際交流の推進を図るとともに  
草津市の国際化に寄与する

これまで、

- 姉妹都市等との交流事業
- 国際理解活動の推進
- 多文化共生の取り組み  
などを行ってきました。

**最近の社会状況などの変化**により、KIFAの今後の活動と果たすべき役割を見直す時期  
にきています。

### 社会状況の変化

- ・ 市内在住外国籍住民との  
間の諸問題
- ・ 多文化共生社会づくりの  
必要性の増大

### KIFAの抱える課題

- ・ 会員・スタッフなどの  
減少
- ・ 活動メンバーや事業の  
固定化 など

このような状況をふまえ、本ビジョンにおいて、KIFAの直面する**重要な課題を5つに  
絞り、それらに対する方向性を示していきます。**

## KIFAの重要課題

1. 姉妹都市等（米国ミシガン州ポンティアック市、中国上海市徐匯区）との交流につ  
いて、交流が再開され新しい局面にさしかかっている。
2. 市域に暮らす外国籍住民との間の言語、風習の違いからくる様々な課題解決が必要。
3. 草津市民の方々に、外国の文化・言語・習慣等の違いを知っていただく場が少ない。
4. 私達の活動を幅広く一般の方々に知らせるための、広報を積極的に進める。
5. 会員の高齢化や活動の担い手不足のため、次代を担う「人材育成」が急務。



## KIFAの重要課題に対する取り組み(2017~2021年度)

### 1. 姉妹都市等との交流について、新しい交流の形を推進していきます。

#### <滋賀県ミシガン州友好親善使節団による交流>

滋賀県がミシガン州に友好親善使節団を派遣する際に、草津市民がポンティアック市の姉妹都市クラブ員宅へホームステイすることで、交流が可能となることから、滋賀県の友好親善使節団による交流を通じてポンティアック市との交流を進めます。

#### <他の姉妹都市・友好都市との交流の推進>

節目の時期での交流を計画的に進める事により姉妹都市・友好都市交流を継続します。

#### <IT技術を活用した交流>

姉妹都市・友好都市とIT技術を活用した、「離れていても心の通じあう交流」を進めます。

#### <過去の交流の歴史の活用と市民活動団体との連携による交流>

すでに国際交流事業を行っている市民活動団体（くさつポンティアッククラブなど）と連携を深め、姉妹都市等との交流を図ります。

### 2. 草津市にあった多文化共生の地域づくりを目指します。

#### <“やさしいにほんご”による交流>

外国籍住民が地域の人々と“やさしい にほんご”で交流できるよう、UDCBKでの“やさしい にほんご サロン”の拡充を図ります。

#### <外国籍住民の活躍の場の創出>

外国籍住民の持つ能力を地域づくりに活用できるよう、活躍の場を創出します。

#### <多文化共生の意義と重要性の発信>

多文化共生についての理解を深めることを目的とし、多様な人々と学びあい、理解を深める事業を行います。

### 3. 出前講座・外国人による文化紹介の機会を広げ国際理解を推進します。

#### <出前講座の実施、外国文化紹介イベントの実施>

外国文化紹介イベント、JICA帰国隊員報告会等の国際理解に役立つ企画を進めます。多文化共生を推進する事業も積極的に運営していきます。

### 4. KIFA活動を一般の方々に幅広く公知していく広報活動を充実させていきます。

#### <KIFA会報誌・ホームページの充実・市広報紙の活用>

幅広い媒体を使つての広報活動を充実させます。

### 5. 活動の担い手の育成に注力していきます。

日常的な活動の場作りを進めます（ディスカバリーカフェ）。

学生との連携を増やします（シティズンシップ・スタディーズ/滋賀大学/立命館大学）。ボランティアスタッフの研修にも力を入れていきます。

# KIFAの事業別取り組み例(2017~2021年度)

## ●国際交流・国内交流

| 取り組み              | 内容   |
|-------------------|--|
| 姉妹都市・友好都市との交流の推進  | 節目の時期に各都市との交流を着実にを行い、定期的な交流が途絶えないようにし、新たな世代同士のつながりを作り上げていきます。            |
| 国際交流事業における交流方法の検討 | 従来の方法に加えて、会員以外のコミュニティ同士の交流の場を設定するなど、新たな交流方法を検討します。                       |
| 滋賀県と連携しての交流事業の推進  | 交流事業に関して、滋賀県が行う事業と共同で実施することによって事務の効率化を図りコストを削減させ、参加者がより参加しやすい環境を作っていきます。 |

## ●国際理解

| 取り組み                  | 内容   |
|-----------------------|--|
| 文化・生き方・音楽を通じた国際理解の浸透  | 外国人からの自国紹介、日本人からの他国紹介等のイベントを通して、国際交流の基本である他国の文化・習慣・音楽に親しみ国際理解を深める事業を継続します。 |
| 言葉を通して世界とのコミュニケーション深化 | 言語の重要性を重視し、世界の言葉を学べる場を提供していきます。英語サロンの継続と他の言語の学ぶ場の設置も検討していきます（言語交換の場）。      |
| 世界の問題を通して、地球人としての貢献   | 国際理解の場を大きく広げ、環境問題も取上げて、ILEC等の国際的な機関との連携などを検討していきます。                        |

## ●多文化共生

| 取り組み          | 内容   |
|---------------|--|
| ニーズの把握と役割分担   | 外国籍住民ニーズの把握に努め、KIFAで取組むべき事業については、関連機関と協議を行い、多文化共生推進に努めます。        |
| 日本語教育の場の拡大    | 「やさしい日本語サロン」の活動を広げると同時に、日本語教室きずなの活動との連携を図り、外国人のニーズに答えるようにしていきます。 |
| 幅広い参加者獲得の場の確保 | 「ボランティア説明会」などの新たな場を設けて、KIFA活動の紹介を強化する事により、活動への新規参加者確保に努めます。      |
| 市民への啓発活動の拡大   | 多文化共生に資する事業やワークショップを通じて、市民の多文化共生への理解を促す活動を行います。                  |

## ●広報

| 取り組み                | 内容   |
|---------------------|--|
| KIFAスクウェアの充実        | KIFAスクウェアの発行回数を年4回とし、新しい情報の発信に努めます。                      |
| ホームページ（HP）の多言語化の推進  | 現在基本的には日本語のみのホームページを、KIFA活動の広報活動の実効を上げるために多言語化します。       |
| SNS活用推進と同時にHPとの連動強化 | KIFA活動内容をSNSで情報発信すると同時に、SNSとホームページとの連携を強化し、情報の一元化を進めます。  |
| 市内外活動団体の紹介          | 市内の各種団体との連携強化を目指し、KIFAスクウェアに他団体紹介ページを設け、継続的に情報を発信していきます。 |

## ●組織運営

| 取り組み               | 内容   |
|--------------------|--|
| 新規会員の増加            | 新規会員の拡充のため、企業枠、学生枠を設けて入会しやすい環境を整えます。                 |
| 幅広い世代の取込み          | 学生層との交流の場を広げ、継続的にKIFAイベントを支えてくれる若い人材の獲得を目指します。       |
| 効果的・効率的な事業実施       | 各部会の活動内容を精査し、それぞれの設立目的にあった事業を厳選して実施していきます。           |
| 市内他団体との交流強化で活動範囲拡大 | 交流の無かった市内他団体との接点を見付けだし、交流を強化することでKIFA活動の認知度をあげていきます。 |

※ここに示している取り組みは、前項の重要課題に対する取り組み以外の主なものを例示しています。

# English Hiking 2018



4月22日(日)の「アースDAY」に初めての試みとして、ALTとして滋賀県に赴任している方々とのハイキングを大津市の田上山(太神山)で楽しみました。

※ALT…Assistant Language Teacherの略

今年は初めて滋賀県でALTをされている外国人の皆さんとコラボイベントを企画しました。なぜかという、ALTたちのリーダーが積極的で、ぜひ一緒にハイキングをやりたいと声をかけてくれたからです。

ハイキングといえば自然!ぜひアースデイの時に!と思い、4月22日の日曜日を選びました。その日は晴れて、とても素敵な朝でした。

石山駅で集合して、一緒にバスに乗って、登山口へ。登山口で警察官が立っていて、「暑いので気を付けていってらっしゃい。」と声かけてもらいました。アメリカ人の皆さんは、「日本の警察官がピースフルでいい仕事してるな。」と感心していました。

登山を始める前に自己紹介。円になって、全員英語で自己紹介をしていただきました。子どもさんも頑張って英語で話してくれました。



それではスタート! 4つのグループに分れて、おしゃべりしながら登っていきました。

アースデイでしたので、ぜひ地球にいいことをしようと思い、袋を持ってごみ拾いへのご協力を呼び掛けたところ、子どもたちが積極的にやりたい!と言ってきて、一緒に袋にどんどんごみを集めていきました。

途中で休憩をはさみながら行きましたが、トップまで結構時間がかかりましたので、お互いに「頑張れ～」と言いな



がら登っていきました。ある男の子は途中お母さんを置いて、ずっとALTのリーダーと一緒に先頭ですいすい登って行って、超元気でした。

田上山(太神山)の不動寺まで登って、広場で昼休憩しました。わいわいしゃべりながら、楽しくお弁当をいただきました。昼ごはんの後、アイスブレイクとネイチャーゲームを行いました。アイスブレイクではペアになって、後ろに隠した手の指を何本かを同時に出して、出された指の足した数を英語で早く言えた人が勝ちというゲームをしました。皆さん必死になって、遊んでいました。

ネイチャーゲームの一つ目は、最小と最大の葉っぱを見つけることでした。各チームで探してもらい、拾ってきた葉っぱたちを比較して、ウィナーを決めました。ちっちゃくてとても可愛い葉っぱと長〜い葉っぱがたくさん集まりました。

最後に、木と触れ合うアクティビティをしました。木に近づいて、木のエネルギーを感じて、木を抱きしめる。参加者から、「やったことなかった!」、「気持ちよかった!」、「木は温かかった」などの感



想をいただきました。自然の有難さや凄さに気づいていただけたかなと思いました。

最後に自然の中の集合写真を撮って、下に降りました。降りるのはとても早くて、バスにも充分間に合いました。

英語での会話がたくさんできて、外国人と日本人が楽しく触れ合うことができました。友情がたくさん生まれた一日でした。ご参加の皆さん、ありがとうございました!

そして、このアイデアを提案してくれたALTのリーダーAzizさんに本当に感謝しています。来年もやりましょう~!



参加者27名(日本人14名、ALT10名、他外国人3名) KIFA国際理解部会部会長 藤田アニコー

## 案内 上海徐匯区の桜の開花 (KIFA寄贈)

2016年5月に草津市の友好都市である上海徐匯区に、友好の証として桜(ソメイヨシノ)を寄贈し植樹いたしました。

今年の開花写真を、草津電機株式会社の北村嘉英さまよりいただきました。現地にしっかりと根付き、今年も満開の花を咲かせてくれています。北村さま、写真ありがとうございました。



## 募集

平成30年度  
後期英語サロン

イギリス人講師デイビッドさんの後期英語サロン(初級、中級)の参加者を募集します。全10回のコースで、毎回違ったテーマで英語を楽しむサロンはアットホームな雰囲気です。

- 日時：平成30年10月1日～12月10日の毎週月曜日(祝日除く)  
【初級】9:30～10:30  
【中級】10:35～11:50
- 場所：草津市立まちづくりセンター(西大路町9番6号)
- 定員：各級12名(先着順)
- 参加費：(10回分)  
【初級】KIFA会員6,500円・一般9,500円  
【中級】KIFA会員9,000円・一般12,000円
- 申し込み開始：平成30年9月3日(月)
- お問合せ・お申込み：草津市国際交流協会事務局窓口・電話・メール・FAXにて

## 募集

## モンゴルDAY

モンゴル出身のパフォーマーを講師にお迎えし、モンゴルの料理や文化そして音楽を学び、体験し、楽しむイベントです。

- 日時：8月4日(土)10時～14時半
- 場所：草津市立まちづくりセンター(西大路町9番6号)
- 第1部：10時～13時 クッキング・食事(定員20名)
- 第2部：13時～14時半  
モンゴルの文化や音楽を学び、体験する(定員80名)
- 参加費：会員500円、非会員800円  
第2部のみ参加の場合：会員無料、非会員300円
- 持ち物：エプロン、三角巾、タオル、お茶

